

サイフォン式小規模ため池の利水・減災

簡易装置の研究開発

香川高専

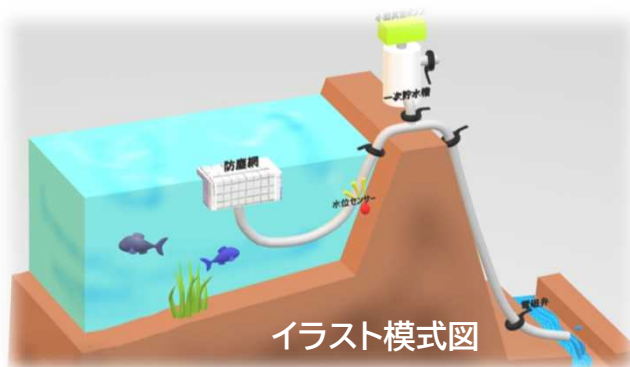
建設環境工学科 向谷 光彦
株式会社チェリーコンサルタント 姜 華英・四宮 優子

共同研究

小規模ため池(ため池の貯水量が5万 m^3 以下)を対象とし、サイフォン機能を利用した安価・半自動化・脱着可能、かつ簡易的な環境配慮型の利水・減災装置を備えたシステム研究・開発を行っています。

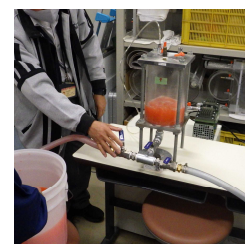
<研究開発のゴール>

- ①迅速に水位調整の対応することにより、災害発生(破堤)率を低減させます。
- ②安価な装置かつ、放水操作を簡易化と、ため池水位の可視化をすることで、農家・改良区・自治体の理解が容易に得られます。
- ③部品調達と組み立てを容易にするため、全国の中小ため池で適用が可能となります。



<期待されることと技術的な課題>

- ①中小ため池機能を生かした洪水対策を含め、ため池の利水・減災対策技術の展開が期待されています。
- ②簡易なシステムを遠隔で操作できるように、さらに技術+創意工夫が必要となります。
- ③中小のため池の維持管理において、予算的に厳しく、多く地域や個人負担となっているところに使っていただける価格面での資材選定がさらに重要となります。



室内実験と
現地実験の様子



連絡先:香川高等専門学校研究協力係kenkyu@t.kagawa-nct.ac.jp
(株)チェリーコンサルタント四宮shinomiya.yuko@cherry-c.co.jp